

意見・案等検討結果説明シート

整理番号	5
更新日時	令和2年3月27日

件名	国・県などの支援制度を活用した町行政の推進		目的 町行政は、限られた予算と人員で多くの重要課題に対処していかななくてはならないため、行政のスピード感やタイムリー性の改善が必要である。 ①人口減少を緩和するためには各地区の活性化が不可欠であるが、これを効率的に実践するには、専門知識や実体験を有する人材の配置が必要である。 ②公共交通機関の輸送人員が減少し、生活交通の存続が危機に瀕しているが、これに対処するためには専門知識と資金が必要である。 ③総合戦略を先進的に取り組んでいる自治体における一般予算の人口1人当たり金額は2倍以上にもなる。	主管課	企画財政課
				電話番号	0857-73-1412
提案内容（原文）	<p>1.実施主体 岩美町役場</p> <p>2.実施時期 令和2年度～順次・都度</p> <p>3.実施内容 (1)総務省 地域おこし協力隊、集落支援制度の活用 ①背景:人口減少を緩和するには、各地区の活性化が不可欠である。この施策を効率的に実践するには、専門知識や実体験を有する人材の配置を積極的に行うことが必要である。 ②内容:地域おこし協力隊制度や集落支援員制度を活用し、それらの人員を各地区に配置し、各地区の組織・体制づくりや地域活性化推進の担い手とする。 (2)国交省 地域公共交通確保維持改善事業の活用 ①背景:少子高齢化で公共交通機関の輸送人員が減少し、生活交通の存続が危機に瀕しており、地域公共交通の維持・確保が急がれる。これらに対応するには、調査・分析・企画の専門知識と試行運転等の基金が必要。 ②内容:国や県の支援制度を活用し、人材確保や助成金による試行運転を重ねながら、最適な運用形態を見出す。民間の基金も活用する。立案・企画、技術面では、大学と協働で対応する。 (3)その他 総合戦略を先進的に取り組んでいる自治体を探求するに、一般予算の人口当たり金額は岩美町の2倍にもなる。支援・助成金制度等を積極的に活用し地域活性化を邁進している。岩美町も支援・助成金制度等を積極的に活用し、地域活性化の業務効率が望まれる。</p> <p>4 費用負担 町費、国・県費、民間基金</p>				
	検討結果	<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない <input type="checkbox"/> 引き続き検討する <input type="checkbox"/> その他			
事業概要	款	2	総務費		
	項	1	総務管理費		
	目	6	企画費		
	事業名	交通政策企画調整費のうち			
概要	事業費	4,334千円			
	財源内訳 (千円)	県支出金	1,444千円		
		一般財源	2,890千円		
<p>(1)地域おこし協力隊や集落支援員は、取り組むべき課題や目的を明確にした上で募集、任用を行っています。各地区一律に配置するのではなく、地域の実情やニーズに応じて、隊員等の配置が必要と判断されれば、個別に検討したいと考えております。なお、各地区の活性化や人口減少に対する取組につきましては、地域創生チャレンジサポート推進補助金の制度をご活用いただけます。</p> <p>(2)ご提案のとおり、公共交通は、利用人員の減少や運転手不足などにより、厳しい状況になっております。利便性と経済性・効率性の面から、より有効な交通体系を検討するため、町民の皆様のご意見を伺いながら、専門事業者への委託により、「地域公共交通計画(仮称)」を策定します。</p> <p>(3)現在、令和2年度以降に取り組む「第2期岩美町地域創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。ご提案のとおり、国や県の支援を最大限に活用する必要がありますが、補助金等を充当した残額については町費が必要となることや、国・県の支援が終わった後も町費で継続していかなければならないことを踏まえ、持続可能性や費用対効果を十分に検証しながら、真に取り組むべき事業を検討してまいります。</p> <p><地域公共交通計画(仮称)策定費> 町内において持続可能な公共交通体系を検討し、具体的な取組につなげるための計画を策定するものです。 【内容】 利用実態や住民ニーズから、公共交通の役割や課題を整理し、具体的な取組を検討します。 【事業費】 専門事業者への委託料 【財源】 鳥取県地域交通体系再編支援補助金(補助率 1/3)</p>					